

二学期の終了です (終業式校長講話より抜粋)

みなさんにとってどんな二学期でしたか。

これから、二学期のがんばりを1年生から6年生まで、それぞれ1まいの写真で、ふりかえろうと思います。

最初は1年生です。

小学校生活はじめての運動会がありました。みてください。5人で堂々と入場行進をしました。かけっこも全力で走りきったし、2年生・3年生のお兄さんお姉さんと「花笠音頭」もぴったりそろえて踊りました。麻績小学校の子どもとして、一人ひとりのよさを発揮して、勉強に運動に、そしておそうじや読書にも、立派に取り組みました。



2年生です。

これは何をしているところでしょう。そう。「紙すき」ですね。「牛乳パック大作戦」として、リサイクルではがきをつくりました。「紙すき工場オープンです」と活動が始まると、道具や作業場の準備を進めて、自分の選んだ色の紙をミキサーで細かくして、それをわくにはさみこんで水分を切り、取り出して乾かしていきました。誰もが自

分のやることに自信を持ってどんどんと進めていく姿がとてもすてきでした。

3年生です。

去年の秋にまいた小麦が育って、今年の春には立派な麦が収穫できました。脱穀、そして粉にしてもらおうと、その小麦粉をつかってうどんをつくりました。小麦粉は水でこねてねかすと、とても強いねばりが出ます。それを「こしがある」といいます。3年生のうどんは、小麦粉のかおりがする、そしてこしのある、とてもおいしいうどんになりました。暑い中、汗を流して草取りをしたり、かゆくなっても文句を言わず麦の刈り取りをしたりした3年生の皆さんのがんばりが、



うどんの強いこしにあらわれていたように思います。

4年生です。

これは、金管バンド入部式です。一人ひとりが、金管バンドの活動に向けての目標や決意を力強く発表しました。自分が希望する楽器に決まって、やる気満々の入部式でした。そして朝練習では、6年生に教えてもらいながら今、めきめきと実力をつけています。早く上手になれるようにと楽器を持ち帰って自主練習に励んでいる人もいます。4年生が入部して、ここ数年の間では一番人数の多い金管バンドが編成できます。5年生と心を一つに合わせての力強い演奏が楽しみです。



5年生は、1年間かけて田んぼの学習をしました。みんなで・作った・おいしいお米をめざして、無農薬のお米作りに取り組みました。農薬を使わないと草がたくさん生えてしまうので、草取りが大変なことになります。でも、無農薬だからこそ、田んぼや稲のためにフナを飼うフナ農法に挑戦することもできました。稲を育てておいしいお米を収穫できたこと、フナの命を守り育ててその命をいただいたこと。2倍も3倍も苦労した分、学んだこと、得ることのできたことも何倍にも膨らんだと思っています。



6年生です。

いつも全校の友だちの先頭にいてくれました。6年生が動いてくれないと学校は、よい学校になれません。運動会や金管バンドの発表に向けての練習、児童会の当番活動、行事の準備や後片付け。わたしたち誰もが楽しみにしている「休み時間」がなくなってしまう日も多くあったと思います。でも、6年生の皆さんからは、そのことへの文句や苦情は聞こえてくることはありませんでした。むしろ、そのことをほこりに感じているようにわたしには思えました。自分の果たさなければならない責任を、そのことを意気を感じて動き回っている6年生の姿を感じました。だから麻績小学校の二学期が、すてきな二学期になったのだと思います。



全校のみなさんのがんばりがあって、その一つひとつが積み上げられて、今日の終業式を迎えられるのだと思います。麻績小学校のみなさん一人ひとりの二学期のがんばりに、お互いに拍手を贈りましょう。

よいお年をお迎えください

一年間ありがとうございました。お家の皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。